

平成 30 年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：江之子島文化芸術創造センター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p>I (1) 施設の設置目的及び管理運営方針</p>	<p>■センターが提示した施設の運営方針や活動方針に則り、運営がなされているか。 ■enoco ならではの場作りと運用に努め、主体的な創造活動と交流の機会を提供し、場の活性化がなされているか。 ■各事業はセンターの方向性・強みづくりに沿った運営がなされているか。</p> <p>【目標値】 ◇来館者数延べ 155,000 人 ◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ数 680 件 ◇enoco と創造的活動を協働した個人・団体等の数 230 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度指摘した場の活性化に向け、集客を図った事業内容の工夫やカフェのオープンなどの取り組みが行われており評価できる。 ・数字だけで評価したくないため、目標に対する実績値の理由も併せて説明していただきたい。 ・「プラットフォーム形成支援事業」が外部に対して enoco へのアプローチの役割を果たしており、それが enoco の営業活動に貢献している。 ・「プラットフォーム形成支援事業」で実施するイベントのチラシについて、ロゴマークが掲載されていないなど、enoco の事業であることが一目でわかりにくい。 ・今後は、アウターブランディング（館外に向けてのブランドを構築すること）を意識していく必要があると考える。例えば、保育所プログラムの中のアート部分のみを enoco が請け負うなどの展開は考えられないか。 ・どのような人が enoco のフォロワーになるかも重要。アーティストの利用を促すには、「人につく」「ことにつく」「場所につく」の三つ巴が必要で、この要素を押さえなければならない。 ・収支の点や全体のバランスから見ても、貸館事業の「穴」をどのように埋めるのかというより、「穴」がどのようなものなのか、より明確化させ、その対策を講じていくことが、次年度の事業計画の肝になると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も引続き、場の活性化に向けた企画実施を図りたい。 ・実績値だけでなく、具体的内容や目標達成（不達成）の理由も併せて報告するよう指定管理者に依頼する。 ・「プラットフォーム形成支援事業」は H30 で終了となるが、引続き enoco と協働してアートやデザインを通じた課題解決に取り組むよう指定管理者に依頼する。 ・指定管理者とアウターブランディング（館外に向けてのブランドを構築すること）のための方針や事業内容を協議する。 ・貸館事業について、利用者のニーズは一定把握しており、その対策も講じようとしているが、更なる利用率向上に向け、引続きどのような調査が有効か文化課と協議してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な創造活動と交流の機会の提供とともに貸館の利用率を向上させ、更なる場の活性化に努める。 ・次回からは、実績値の具体的説明と数値に対する評価の理由も併せて説明する。 ・「プラットフォーム形成支援事業」の成果やノウハウの周知に注力し、市町村等の課題解決に取り組む中間支援拠点となることを目指す。 ・アウターブランディング（館外に向けてのブランドを構築すること）を実現するための方針や事業等を文化課と協議し、具体化を目指す。 ・貸館事業において、利用率向上に向けた取り組みを出来る限り速やかに実施するとともに、利用者のニーズを引続き調査し、その調査の結果を踏まえた更なる利用率向上に向けた新たな対策についても文化課と検討する。

<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>①協働の拠点づくりに関する業務が適切になされているか。</p> <p>ア 文化関係機関とのネットワークの構築と文化情報の収集・提供</p> <p>イ 創造的な活動機会の創出等の支援</p> <p>ウ 相談窓口の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から、大阪の芸術文化の支援や助成活動を行う3つの団体（アーツサポート関西、大阪アーツカウンシル、一般社団法人おおさか千島財団）と連携し、情報や課題の共有を行う場である「おおさかアートコモンズ（仮称）」を立ち上げ、11月24日にキックオフとなるオープンミーティングを開催。引続き、2月15日には、課題や情報を共有し参加者の方とともに話していく「ギャザリング」（集会）を開催するなど、文化関係機関とのネットワーク強化に向けた新たな取組みを進めており、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> よりネットワークの強化を図れる企画内容となるよう指定管理者と調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「おおさかアートコモンズ（仮称）」の充実・強化に努め、enocoに人と情報が集まる状況（拠点化）を目指す。
	<p>②フリースペース、ライブラリー兼休憩室等の利活用に関する業務</p> <p>■誰もが自由に利用できる空間として運用されているか。</p> <p>■利用価値を高め、魅力ある空間として整備・運用されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1月19日に地下1階にオープンしたカフェ（CORAL PARLOR enoco）に多様な人々が滞在するよう工夫を行うこと。 事業実施においても積極的に地下のフリースペースを活用し、館の活性化に繋げること。 	<ul style="list-style-type: none"> 地下フリースペースを活用した事業の実施や企画により、多様な人が滞在し、場の活性化が図られるよう指定管理者に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営事業、自主事業ともに地下のフリースペースを活用して場の活性化を図れる事業を検討し、積極的に実施する。
	<p>④貸館運營業務</p> <p>■戦略的な営業の実施</p> <p>■適正な減免の実施</p> <p>【目標値】</p> <p>◇多目的ルーム（1～4）利用率60%</p> <p>◇多目的ルーム（5～12）利用率60%</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのような人に利用していただきたいのか、仮にアーティストであれば求める機能は何なのか、議論を行い、enoco側の姿勢やメッセージとしてしっかりと発信すべき。 enocoならではのPRポイントをしっかりと打ち出していくこと。 リピーター限定のポイント付与設定、地域通貨、閑散期割引、繁忙期割増、紹介者割引、時間貸しの導入等、まだまだ工夫の余地がある。ゼロベースで検討していくべき。 類似施設がどのような運営をしているのか、利用料金設定はいくらなのか等を調べるとよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が求める機能やenocoで部屋を借りるメリットを整理するとともに、できることから順次、積極的に発信していくことで、利用促進が図られるよう依頼する。 割引、値上げ等については、現状（ニーズ）を把握のうえ文化課と協議してもらう。また、公の施設の担当課に確認したところ、ポイント付与や地域通貨については、前例がなく、回数券については、導入している施設がある。そのため、導入するか否かについては、文化課と協議してもらう。 同様の施設の利用料金設定や利用促進策の展開等について調査できないか、指定管理者に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続利用者だけでなく、新規顧客の獲得に向け、広報先の開拓を行い、対象者別に部屋を借りるメリットのPRを積極的に行う。 多様なニーズに対応できるよう、どのようなサービスが提供できるか検討する。また、利用料金設定についても見直しを図る。 類似施設のサービスや利用料金等の調査を検討し、enocoでの新たな運用を決める。

		<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペース検索サイト『SPACE MARKET』への貸室情報掲載を検討すべき。 ・貸室の利用状況について、ホームページでは、予約済が掲載されており、空室状況が一目でわかりにくい、また、その場で予約ができないため改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペース検索サイト『SPACE MARKET』は、画面上で予約ができるが、貸室利用に係る審査が事前に必要な enoco にとっては掲載することが難しいため、他のサイト等で貸室情報を掲載するよう文化課と共に検討してもらう。 ・HP における空室状況をわかりやすく提示する方法を考えるよう、指定管理者に依頼する。また、予約については、審査に係る必要書類の提出が必要となるため、仮予約の段階であることを HP で提示できないか、指定管理者に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ enoco の貸室利用にあたっては事前審査が必要であるため、HP 上での「予約」は難しいが、「仮予約」できないか等、利用者が予約しやすい仕組みを検討する。
	<p>⑦広報計画に基づき適切になされているか。</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇WEB サイト全体の総セッション数 126,000 回／年 ◇WEB サイト全体のリピーター率 40% ◇HP 更新頻度 3 回以上／週 ◇メールニュース配信者数 2,300 件（者） ◇メディア掲載数 45 媒体以上／年 ◇Web 掲載数 18 媒体以上／年 	<ul style="list-style-type: none"> ・Web 広告等を行っているが、利用に繋がったのかどうか検証が必要である。 ・ enoco が使用しているワードが、一般の人々にわかりにくいもの（ワードを聞いて事業内容が瞬時にイメージできない）となっているので、工夫が必要である（「プラットフォーム」「コモンズ」等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 広告等実施の結果分析を行うよう、指定管理者に依頼する。 ・誰にでも伝わるワードについて検討するよう指定管理者に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果を基に、事業ごとに広報の手法を変えるなどの工夫を凝らす。 ・事業名等には専門用語は使用せず、誰もがわかるワードを検討のうえ、広報を行う。
II（1）アンケート調査等	<p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中規模以上の企画展アンケート有効回答数 100 以上。アンケートの結果プラス評価 80%以上。 ■貸館アンケート有効回答数 50 以上。アンケートの結果プラス評価 80%以上。 ■アンケートの回収に向けた効果的な取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が満足している点を拾い上げて PR することにより貸館利用率向上に繋がるので、貸館アンケートの回答数の増に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に対し、新規利用者の確保に努めるとともに、リピーターの方にも声掛けを行い、回答数の増を図らせる。併せて、新しい要望等がないかを確認するよう、指定管理者に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多様な層からアンケートが回収できるよう努める。 ・回収したアンケートについては、しっかりと分析を行い、適切な事業改善を行うことでサービスの向上に努める。